

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 8月 8日 更新

事務事業名	公営住宅維持補修事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	都市建設部	辻 賢一郎
	施策	9 住環境の充実			所属課	都市計画課	担当者名 福岡 綾
	基本事業	25 公営住宅の充実			所属班	都市計画班	(内線) 2233
予算科目	会計一般	款 8	項 5	目 1	事業連番 10158	法令根拠	公営住宅法・特定優良賃貸住宅の促進に関する法律・合志市営住宅条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	
成果優先度評価結果		⑧					
コスト削減優先度評価結果		⑥					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	公営住宅264戸と特定賃貸住宅37戸の補修を行う。補修を要望するものからの連絡により実施する。・昭和32年に旧西合志町で御代志住宅を建設し、住宅管理事務が開始された。・南原住宅は平成16年度より建替えを実施しており、平成20年度で終了した。・経費節減のため、職員による補修を出来る範囲で実施している。・現在の入居者からは床や浴槽の修理交換等建物本体に係る補修の要望が多く、退去後の修繕では床や、水廻り設備の修繕費用が高額になってきている。
【業務の流れ】	連絡により補修箇所を現地に確認し、直接又は業者に補修を依頼し施工する
【主な予算費目】	需用費・役務費・委託料・工事請負費・原材料費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	入居者より、犬や猫等のペット類を飼っておられる方の対応をして欲しいとの要望があった。・入居者より住宅内の樹木の伐採をして欲しいとの要望があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動) (DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
補修を要望する入居者からの連絡により、現地を確認のうえ市営住宅の補修を行った。 南原住宅目隠しフェンス設置工事、御代志住宅ガス給湯器取替工事、御代志住宅地デジアンテナ改修工事を行った。	市営住宅の補修を要望する入居者からの連絡により、現地を確認のうえ補修を行う。御代志住宅ガス警報器取替、サンヒマワリあおいフェンス目隠し板設置、南原住宅ガス警報器取替を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 修繕費・維持工事の件数	→ イ: 市営住宅の老朽化による修繕需用費(施設修繕費)の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
住宅の補修を要望するもの。	→ ア: 補修の要望件数 (単位) 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
安全に住むことができる。	→ ア: 要望どおりに補修が出来た割合 (単位) %
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
市営住宅に安全で快適な状態で居住できているかを判断するため、補修要望への対応を成果指標に設定。平成22年度の目標値については、要望について必要であれば随時対応するため100%に設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
① 活動指標	ア	件	77	105	80	106	80	80	80	80	
② 対象指標	ア	件	50	105	80	106	80	80	80	80	
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	10	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		5,602	7,520	5,064	8,269	10,420	8,170	8,170
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	3,841	45						
		繰入金	千円								
	一般財源	千円		5,626	28	2,711	42	2,780	30	30	
	(A) 事業費計	千円	3,841	11,273	7,548	7,775	8,311	13,200	8,200	8,200	
(A)のうち指定経費	千円	0	0	28	27	42	30	30	30		
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0		
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	4	5	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	1,230	1,450	1,200	1,240	1,200	1,200	1,200	1,200	
(B) 人件費計	千円	4,895	5,974	4,944	5,007	4,944	4,944	4,944	4,944		
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,736	17,247	12,492	12,782	13,255	18,144	13,144	13,144		

事務事業名	公営住宅維持補修事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 要望に対し現地を確認のうえ、必要に応じ随時補修を行うため目標達成は可能
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 必要に応じて補修をしているので、向上の余地はない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 公営住宅管理事業と公営住宅維持補修事業を統合したので、他に類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 老朽化による補修費の増加を抑えるため、直営の補修を増やすと、補修額の上昇を抑えることができる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 すでに職員削減を行い、補修の外部発注を行っているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 入居者からの要望により、補修を順次行っているため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 維持管理も含めた委託により、団体等へ移行可能と思われる。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

各施設の老朽化のため補修要望が増えてきており、費用が増加傾向にあるため、今後の住宅の活用方法を考慮した上では計画的に補修を行っていく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>今後の住宅の活用方法を検討しなければならない</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△	低下			△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			△																		
	低下			△																		
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>住宅の活用と管理の検討方法</p>																						